市報 とおかまち

12 December 194号

編集発行／十日町市役所（電話(代)7-3111）毎月15日／昭和32年6月5日第3種郵便認可（1部6円）

人口
男 24,810
女 26,268
計 51,078
世帯数 11,079

さあ投票しよう

12月10日 衆議院選挙投票日
12月17日 参議院補欠選挙 投票日

国政をになう人を選ぶ大切な選挙。みんながこの意義深い一票を進んで行使しよう。

政治はあなたが主役です

あなたの一票で明るい国づくりを

十二月十日は衆議院議員総選挙投票日（裁判官「最高裁」の国民審査を含む）一週間後の十二月十七日は参議院議員補欠選挙投票日と十二月は文字通り選挙の月となりました。選挙運動も一段と熱っぽさを増していますが、義理人情や買収供応による一票の行使などしないよう、明るく正しい選挙で自分の一票を十分考え抜いた上で投票して欲しいもの。

投票できる人

満二十歳以上の日本国民は選挙権がありますが、住民基本台帳に記録され、選挙人名簿に登録されていないと投票できません。また、八月二十日以降に転入してきた人は、前の住所地で投票することになります。

投票の時間

午前七時から午後六時まで。繰上げ投票する所もありますので、入場券に書いてある時間内に投票を済ませてください。

入場券をお忘れなく

入場券は市政事務嘱託員を通じ、みなさんにお届けしてありますが、投票日には入場券をお持ちください。

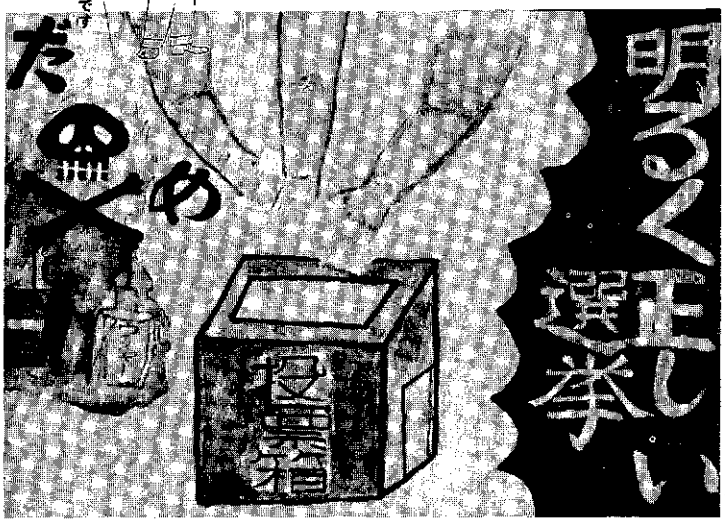
紛失してみつからない方は投票所で係員にお申し出ください

入場券の届かない方は、選挙事務室（電七―三一一一番、有放五二五一五番）へご連絡ください。

不在者投票など

投票日の当日やむを得ない用務や事故等で投票所へ行けない人は不在者投票ができます。（印鑑を持参）

不在者投票は各選挙の前日までの、毎日午前八時三十分から午後五時まで市役所二階の選挙事務室で受付けています。そのほか、代理投票や点字投票もできます。選挙についてのお問い合わせは、市役所三階の選挙事務室まで（電話七 三一一一番有放、五二五一五番）



ポスターは渡辺勝君（川治小六年）の作品

20歳代に多い棄権

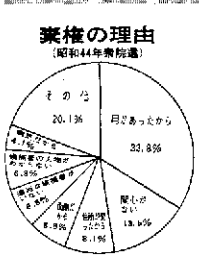
選挙はひとりでも多くの人が進んで投票に参加することが理想です。すなわち、私たちの選んだ人が私たちに代って政治を行なうわけですから選挙はひとりひとりの投票がものをいうわけ。棄権などせず自分だけでも正しい投票をすれば明るく正しい選挙が推進され、しかも国政に参加することになります。昭和四十六年六月二十七日に行なわれた参議院選挙の投票率（別表）をみますと投票率は七十三・一五％。棄権者は八千九百三十六人で全体の二十六・八五％をしめました

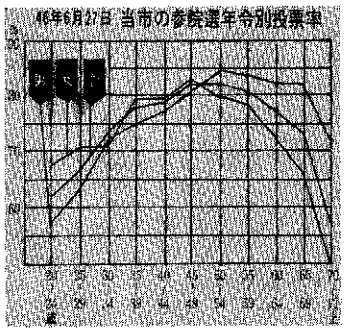
投票率を年令別にみますと、五十～五十四歳が八十三％とトップ。働き盛りの三十～四十九歳にかけて上昇をつづけ、最低は七十歳以上の老人が五十六・七％、ついで二十～二十四歳の若者が六十三％となっており、二十四歳までの若者の投票率が悪いことをしめしています。

若者の棄権の多い理由を昭和四十四年衆院選の全国アンケート結果でみると別表のように「用があったから」が三十三・八％「選挙に関心がない」が十三・五％「住所が変ったから」八・一％、ついで「面倒だから」「適当な候補者がいない」「候補者の人物がわからない」がそれぞれ六・八％となっています

このように「面倒だから」～「候補者の人物がわからない」等をあわせると全体の二十・四％をしめています。これは「今の状態では、私たちの政治に対する願いがうまく吸い上げられない」という理由が若い層に強いことをしめしています。

棄権の理由
（昭和44年衆院選）





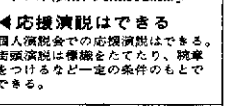
だれでもできる選挙運動

公務員等特定の人を除き、告示の日から投票日の前日までだれにでもできる選挙運動の主なものをあげてみました。

◀電話による投票依頼
居住にかけてもかまわず、候補者の氏名をいってもよい。

▼個々面接…はよい
戸別訪問はいけないが、電車やバスの中、あるいは道路上で、たまたま知人や友人に出あったとき、その機会を利用して投票を依頼することは自由である。

▼幕間演説…はよい
映画、演劇等の幕間、集会、会社等の休憩時間に、そこに集っている人に対し選挙運動のための演説は自由。しかし一定の公共施設内や、そのためにあらかじめ人を集めてもらっておくことはできない。



◀応援演説はできる
個人演説会での応援演説はできる。街頭演説は標識をたてたり、旗幟をつけるなど一定の条件のもとでできる。

この一票――わたしとみんなのしあわせに！

若者に四つの質問

両選挙とも二十歳代に棄権者が多いことは、当市をはじめ全国的な傾向ですが、今回選挙について市内在住の同世代の若者から、つぎの「四つの質問」と題してインタビューしてみました。1あなたは棄権する人をどう考えますか。2投票するとき、あなたは党で選びますか人物を選びますか。3明正選挙はどうしたら達成されるか、あなたの考えは。4政治家に望むこと。その第一、第二は。

大島 賢一 24歳（田中町四）
1無関心及び政治不信のため。2政党・日本全体の動向を定める。3政治家が真の意味で住民の代表者になれば？ 4㈠住民との接触を多く

泡田 住子 22歳（新座第四）
1日々を懸命に生きていない人2政党。各党の主張重要視 3政治に関する真剣な考えと選挙への前向きな姿勢 4㈠福祉施設の充実 ㈡生活の安定化

近藤 かよ 21歳（下条二丁目）
1政治の悪さを言う資格はない 2多くの場合、政党で選びます 3私利私欲にまどわされる人が少なくなった時 4㈠老後の生活を考えてください ㈡侵略だけはしないで

滝沢 茂 23歳（本町四）
1無責任。棄権すべきでない 2両方。人物を知る機会が少ない 3有権者の勉強不足が原因している。選管に積極的に勉強する機会を作って欲しい 4㈠何事にも主権在民を考えた政策㈡有権者と接する機会が欲しい

今月の市報は12月5日発送しました。みなさんの家庭には12月7日頃届く予定です。

とじて保存しておいてください
市報とおかまちは家庭と市役所を結ぶかけ橋です

紀行書 越能山都登（こしのやまづと）など 市文化財を指定

市教育委員会は、市文化財の指定申請のあったものについて市文化財調査審議会の答申を得て、十一月二十八日つぎのとおり指定しました。

一、四日町神宮寺本尊の脇侍木造毘沙門天王立像、木造広目天王立像
製作年代は鎌倉時代、作者は智証大師円珍とされている。

二、本町三丁目、山内軍平氏所蔵書跡越能山都登（こしのやまづと）上、下全一冊。慕府御勘定組頭金沢瀬兵衛、同行亀井与右衛門、寛政十二年北越巡検の際の紀行書。麻紙の技法を図示したものでは北越最古のものといわれる。

三、山谷吉田社所蔵民俗資料。越後縮緬（えちごっちん）は（た）十六点。文化三年から明治十五年までのもの。

四、中条背戸高諏神社所蔵民俗資料越後縮緬四点。文化十一年から文政十二年までに奉納されたもの。

五、中条太子堂、太子堂所蔵民俗資料越後縮緬三点。天保十三年から明治二十九年までに奉納されたもの。

六、四日町神宮寺境内地及び山林。面積一万六千五百六平方㍍。神宮寺は応安三年すでに天福山神宮神寺であったことが広目天王像背板墨書銘文により判明、越後国における最古の禅宗寺院であることが明らかとなった。境内地には県文化財木造十一面千手観音立像外建造物の内部は有形文化財が数多く現存している。

七、本町三丁目蒲木孫右氏所蔵工芸品縮緬（きれ）見本帳二冊。江戸時代元禄年間徳川幕府御用縮問屋六軒の一越前屋（蒲木孫右衛門）所蔵。文化九年製作、縮の見本きれを和紙帳にはったもの。

羅漢なますのつくり方

主婦 藤木貞（中条旭町）

お正月料理のなかでなますはかかせないもの。中条の円通寺で精進料理の一つとして伝えられている「羅漢なます」についてご紹介します。

①大根、人参は千本切。油揚は熱湯で油抜き、コンニャクはゆでて各線切。②打豆はさっとゆでる。③油を熱し①を全部いため最後に②を加え、しょうゆ、化学調味料で味付け。おろしぎわに酢でととのえる。歯ざわりのよい程度でおろすのがコツ。

前号のおいしいスープのつくり方の文中「コーリエ、セロリ等を入れ鍋のくさみを取る」は「香りをよくする」の誤りにつき訂正しお詫びいたします。

グループ ぐるぐる

新潟高校通信制 十日町学習会

—中学校を卒業したら高校へ進学したい—

しかし家庭や仕事の都合で定時制にも行けない、そんな気のどくな人達のために新潟高校では、全日制のほかに通信制というのをやっています。

通信制とは、ふだん家庭でレポートを自己学習しわからないところは学校に行って先生に直接質問し解決しています。

さまざまな年令の人達がたのしく勉強しています。

文・会長太田清一（土市）

授業風景（でんぷん消化実験）

関口さんが国民年金で表彰

国民年金委員の関口美影さん（本町5）はこのほど社会保険庁長官より永年の功労を認められ表彰されました。

これは国民年金制度発足当時より本事業推進に努力された民間協力者に対し表彰をしたものです。

年賀状は22日までに

年賀状は22日までにお出しいただかないと元旦に配達できないことがあります。

年賀状は「市内」「県内」「その他」に分けてまた手紙にも小包にも郵便番号を忘れずにお書き下さい。 （十日町郵便局）

公民館図書の貸出しについて

公民館図書室では、本館、地区館とも図書の一般貸出しをしていますが、ほかに次のような方法もとっています。せいぜいご利用ください

中条地区公民館——団体貸出（部落婦人会）
飛渡地区公民館——親子文庫
六箇地区公民館——中村、田麦、塩ノ又の各分館に図書配置
川治地区公民館——城之古分館に図書配置、高山分館（勝栄会館）八箇分館（八箇小学校）に配置する予定
吉田地区公民館——吉田、鐙島、真田、名ヵ山の各分館に配置
下条地区公民館——親子文庫、上新田分館に図書配置
水沢地区公民館——野中、馬場分館に配置

本館の一般貸出し

平日	午前9時～午後6時
土、日祝、祝日	午前9時、～午後5時
休館日	月曜、祝日の翌日、年末年始
貸出期間	10日間（雑誌3日間）
冊数	1回2冊まで

購入希望図書、ご意見等がありましたら、公民館までご連絡ください。ご期待にそえるよう努力、たします。

12月休日救急医

10日	中条病院（北原）	☎7—3018番
17日	池玉医院（本町西1丁目）	☎2—2581番
24日	山口医院（袋町中）	☎2—2174番
31日	富田医院（仲明町）	☎2—3269番

工業統計調査にご協力を

昭和47年工業統計調査がことしも12月31日現在で実施されます。

この調査は製造業に関するセンサス調査で調査の結果は各種の経済分析行政施策の基礎資料として広く利用されます。

調査にあたっては調査員が調査票記入依頼にお伺いしますので指定された期日までに記入の上調査員に提出してください。

福祉年金の併給限度額引き上げ

福祉年金はこのほど公的年金との併給限度額が6万円に引き上げられ、6万円未満の方にはその公的年金との差額（39,600円が限度）を支給することになりました。

該当者は国民年金係までお申し出ください。

寄付ありがとう

村山聡太郎（川治下町）は、香典返しとして3万円（消防庁舎建築資金1万円、社会福祉事業1万円、交通安全施設1万円）寄付しました。

田村正平（中条下町）3万円。蹴山広司（山本5丁目）1万円。丸山勇（本町7丁目）3,000円以上交通安全施設基金

十日町市市民会館事業協会23,600円
有名落語家直筆色紙展示即売会売上
富沢タキ 1,777円
渡辺チヨ（袋町）1万円。関口軍治（泉町）5万円。
春日市長13,000円
大井田常盤クラブ、市保母会講師謝礼
十日町高校3年1組3,384円
十日町地区婦人会1万5,000円
林一郎（小泉）2万円 （敬称略）

水道事業のお知らせ

◆昭和46年度の決算状況と昭和47年度の上半期の業務状況をお知らせします。

◆本年度における建設改良及び保存工事は、第一水源地滅菌設備改良工事、第三水源ダクト工事、本町西線布設替工事、田川南線配水管布設工事、その他消火栓新設工事等を施行しました。

◆営業面におきましては、給水人口前年比1,253人増で31,421人になり普及率は98.2%になりました。

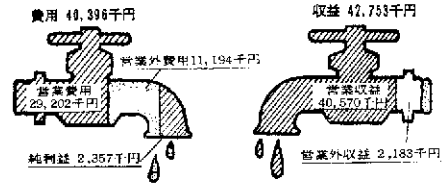
有収水量は2,498,133㎥で前年比242,116㎥増になっております。

有収率は積極的な検満、故障量水器の交換、漏水の早期発見、修理によって68.1%となり前年比3.0%の上昇を見ております。

昭和47年度上半期業務状況

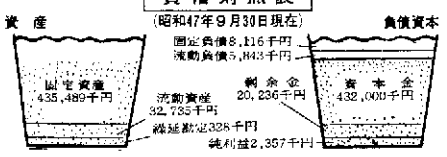
（昭和47年4月1日から昭和47年9月30日まで）

損益計算書



貸借対照表

（昭和47年9月30日現在）



昭和46年度決算状況 昭和46年度水道事業損益計算書

（昭和46年4月1日より昭和47年3月31日まで） 単位円

費用 科目	費用 金額	収益 科目	収益 金額
営業費用	59,436,100	営業収益	79,621,450
営業外費用	22,745,496	営業外収益	4,920,747
小計	82,181,596		
当年度純利益	2,360,601		
合計	84,542,197	合計	84,542,197

昭和46年度水道事業貸借対照表

（昭和47年3月31日現在） 単位円

資産 科目	資産 金額	負債及資本 科目	負債及資本 金額
固定資産	430,814,732	固定負債	8,115,638
流動資産	32,100,012	流動負債	5,809,897
繰延勘定	405,000	資本金	437,157,780
		剰余金	12,236,429
合計	463,319,744	合計	463,319,744

昭和46年度水道事業剰余金処分計算書

（昭和47年11月1日議決） 単位円

1. 当年度未処分利益剰余金		2,454,432
2. 利益剰余金処分額		
(1)減債積立金	500,000	
(2)建設改良積立金	1,500,000	2,000,000
3. 翌年度繰越利益剰余金		454,432

昭和47年度上半期給水業務量の状況

区分		昭和47年度	昭和46年度	比較 増減	比較 比率
給水戸数(戸)		6,768	6,503	265	104.1
配水量	総量(㎥)	2,005,879	1,873,290	132,589	107.1
	一日最大(㎥)	14,860	14,409	451	103.1
	一日平均(㎥)	10,961	10,237	724	107.1
有収水量(㎥)		1,368,009	1,310,103	57,906	104.4
有収率(%)		68.2	69.9	△1.7	97.6

昭和46年度給水業務量の状況

区分		昭和46年度	昭和45年度	比較 増減	比較 比率
給水戸数(戸)		6,643	6,378	265	104.2
配水量	総量(㎥)	3,667,359	3,467,156	200,203	105.8
	一日最大(㎥)	14,409	12,225	2,184	117.9
	一日平均(㎥)	10,020	9,499	521	105.8
有収水量(㎥)		2,498,133	2,256,017	242,116	110.7
有収率(%)		68.1	65.1	3.0	104.6